

平成26年度日本理科教育学会九州支部大会

研究発表プログラム(A会場)

座長

- A-1 科学用語の意味構成に着目した理科学習に関する研究 —「水の温まり方」の学習を事例として—
9:30～9:45 比樂憲一(福岡教育大学大学院教育学研究科)
- A-2 「ことば」と体験をつなぐ理科授業デザインⅢ(1)
9:45～10:00 ○原口淳一(山鹿市立中富小学校), 井上竜作(熊本大学教育学部附属小学校)
- A-3 「ことば」と体験をつなぐ理科授業デザインⅢ(2)
10:00～10:15 ○井上竜作(熊本大学教育学部附属小学校), 原口淳一(山鹿市立中富小学校)
- A-4 知識構成型ジグソー法を用いた化学領域の授業実践
10:15～10:30 ○木山淳一(琉球大学教育学部附属中学校・琉球大学大学院教育学研究科), 吉田安規良(琉球大学教育学部)
- 10:30～10:45 休憩

座長

- A-5 沖縄の日常的な理科授業実践の分析
10:45～11:00 ○吉田安規良(琉球大学教育学部), 神山歩美(琉球大学教育学部), 牧港勇児(琉球大学教育学部), 比嘉俊(宜野湾市立宜野湾中学校), 大浦恵理子(宜野湾市立宜野湾中学校)
- A-6 小学校における物質概念の最適構成に関する基礎的研究
11:00～11:15 ○武藤早紀(福岡教育大学), 安東竜也(福岡市東若久小学校), 賀来弥月(八代市太田郷小学校), 森藤義孝(福岡教育大学)
- A-7 認知論的アプローチに基づく動機づけを考慮した理科授業に関する一考察
—小学校理科第4学年粒子領域を中心に—
11:15～11:30 ○中尾駿平(福岡教育大学), 藺田直樹(上毛町立西吉富小学校), 中山知穂(北九州市立青葉小学校), 甲斐初美(福岡教育大学)
- A-8 理科教科書における「イオン概念の導入」教材の史的変遷
11:30～11:45 原田常昭(小城市立小城中学校)
- 11:45～13:15 昼休憩
- 13:15～13:45 日本理科教育学会九州支部総会

座長

- A-9 レモン電池を用いた授業実践の報告
13:45～14:00 ○川野直(鹿児島大学大学院教育学研究科), 土田 理(鹿児島大学教育学部)
- A-10 発光細菌を供試生物とした毒性試験について
14:00～14:15 ○二宮純子(大分高専), 古川隼士(大分高専), 森田洋(北九州大学)
- A-11 電子レンジを用いたSn-Zn合金の酸化皮膜による光の干渉実験
14:15～14:30 ○田仲勇大(大分高専), 清松天樹(大分高専), 姫野啓太(大分高専), 二宮純子(大分高専)
- A-12 ドラゴンフルーツの果皮を用いた絹布の染色
14:30～14:45 ○瀬口公美(鹿児島大学教育学部), 川端結花(元鹿児島大学教育学部), 錦織寿(鹿児島大学教育学部), 瀬戸房子(鹿児島大学教育学部)

14:45～15:00 休 憩

座長

A-13 中学校におけるカサゴ (*Sebastiscus marmoratus* Cuvier) の簡易飼育法の開発
—夏から冬の飼育条件に関する探索的研究—

15:00～15:15 下山田隆(江北町立江北中学校)

A-14 小学校・中学校理科授業構成への大学による生物教材支援基盤の確立とその有効性の検証 ～小学校・中学校理科への観察・実験支援の効果～

15:15～15:30 西野秀昭(福岡教育大学)

A-15 今の大学生はどのような自然体験をしているのか

15:30～15:45 牧野治敏(大分大学高等教育開発センター)

A-16 葉面半密閉での葉面温度測定による蒸散機能の教材化

15:45～16:00 ○柴田彩緒里(熊本大学教育学部), 小宮良基(熊本大学教育学部), 正元和盛(熊本大学教育学部)

A-17 植物での二酸化炭素及び酸素測定の教材化

16:00～16:15 ○竹市稜子(熊本大学教育学部), 垂愛由美(熊本大学教育学部), 正元和盛(熊本大学教育学部)

A-18 アメリカの生物教科書における「自然選択」のモデル実験

16:15～16:30 ○矢守健太郎(熊本大学大学院教育学研究科), 渡邊重義(熊本大学教育学部)

研究発表プログラム(B会場)

座長

- B-1 9:30~9:45 とっても楽しかった、太陽電池と乾電池
高野登久(近代電気学史研究所)
- B-2 9:45~10:00 進化教育学のすすめ ~幼年期科学教育の場合~
○進藤公夫(元福岡教育大学), 隈部敦子(元福岡市立小学校), 石田靖弘(中村学園大学)
- B-3 10:00~10:15 若手教員による「知識伝達・事例化モデル」実践のためのサポート
○石田靖弘(中村学園大学), 今林義勝(福岡市立青葉中学校), 帆足洋之(福岡市立名島小学校)
- B-4 10:15~10:30 「知識伝達」場面における教え方の工夫 ~溶解概念の理解をたすけるアニメーション~
○帆足洋之(福岡市立名島小学校) 今林義勝(福岡市立青葉中学校) 石田靖弘(中村学園大学)
- 10:30~10:45 休憩
- 座長
- B-5 10:45~11:00 フランスにおける幼年・初等期探究基盤型科学教育プログラム(2)ー La main à la pâteが提供するCPD ー
土田 理(鹿児島大学教育学部)
- B-6 11:00~11:15 問われている科学観の教育
永井宏幸(福岡市在住)
- B-7 11:15~11:30 授業アーカイブシステムを利用した理科教育実習事後指導の試み
○山路裕昭(長崎大学教育学部), 中村千秋(長崎大学教育学部)
- B-8 11:30~11:45 宿泊科学体験プログラムと連携した教職実践演習の試み
○杉尾幸司(琉球大学教育学部), 宮国泰史(京都大学大学院農学研究科), 松田伸也(琉球大学教育学部)
- 11:45~13:15 昼休憩
- 13:15~13:45 日本理科教育学会九州支部総会
- 座長
- B-9 13:45~14:00 大学全入時代の基礎物理学実験におけるヤング率測定法の検討
篠田啓介(久留米工業大学), ○巨海玄道(久留米工業大学)
- B-10 14:00~14:15 中学生における物理学誤概念調査とその分析
○高木響子(熊本大学大学院教育学研究科), 坂田孝久(熊本大学教育学部附属中学校), 谷口和成(京都教育大学), 福島和洋(熊本大学)
- B-11 14:15~14:30 「メルデの実験」の可視化を容易にする実験装置の改良
吉田慎吾(大分大学大学院教育学研究科)
- B-12 14:30~14:45 沖縄県で科学を根付かせるための一実践 ~科学の鉄人 in 沖縄を事例に~
○福元美咲(琉球大学大学院教育学研究科), 與那嶺拓誠(琉球大学教育学部), 吉田安規良(琉球大学教育学部)

14:45～15:00 休憩

座長

B-13 中学校理科における仮説設定がデータ解釈に及ぼす効果 – 「唾液のはたらき」を事例にして –

15:00～15:15 宮本直樹(宮崎国際大学)

B-14 「大地のつくりと変化」における地域教材の開発2 – 地域教材の教育効果と他者評価「今日のなるほどん」の試行 –

15:15～15:30 ○山本裕子(熊本市立田底小学校), 渡邊重義(熊本大学教育学部)

B-15 沖縄県における自然放射線を利用した学習教材の開発

15:30～15:45 松田翔(那覇市立石田中学校), ○濱田栄作(琉球大学教育学部)

B-16 「月の満ち欠け」の理解に関する調査研究

15:45～16:00 ○坂本憲明(福岡教育大学), 八田美里(大川市立川口小学校), 中川英貴(福岡市立原中央中学校)

B-17 なぜ球磨川はそのような流れになったのか

16:00～16:15 ○寺田昂世(熊本大学大学院教育学研究科), 福田将真(熊本大学教育学部), 田中均(熊本大学教育学部)